

21. 子宮がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容			
			開腹手術	腹腔鏡下手術(腔式)		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1 産婦人科	2	2	状況 ○	×	○	○	×	×	産婦人科医師全員が細胞診専門医であり、その知識を活かして子宮頸部及び体部初期癌の早期発見に努めている。悪性腫瘍と診断された場合は、手術療法、化学療法、放射線治療などを組み合わせた治療を行っています。また、緩和ケアサポートチームとも連携し患者様のQOL(生活の質)を重視し、苦痛の緩和に努めています。	ア http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし	
			実績 あり	なし	あり	あり	なし	なし		イ 高槻赤十字病院 がんに係る診療機能および治療内容(部位別)について http://www.takatsuki.irc.or.jp/branch/cancer_support.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
2			状況							ア http://				
			実績							イ http://				
3			状況							ア http://				
			実績							イ http://				
4			状況							ア http://				
			実績							イ http://				
5			状況							ア http://				
			実績							イ http://				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 子宮頸がん、子宮体がん 子宮頸がん、子宮体がん、子宮内膜がん
------------------------------------	--------------------------------------